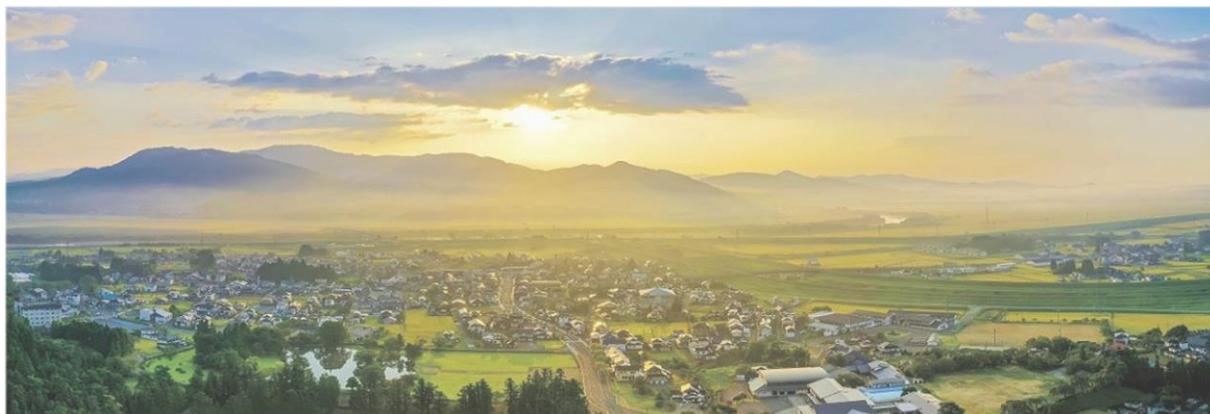


令和5年度 平泉町政策評価結果



令和5年9月



令和5年度平泉町政策評価の概要

1. 評価の目的

(1) 総合計画の進捗確認

本町のまちづくりの基本方針として総合計画で定める「つながりを力に」、「新たな魅力を力に」、「歴史・文化・自然の恵みを力に」を基礎とした各施策の取組について、毎年度決算時に成果や課題、達成状況などについて評価を行います。

(2) 効果的・効率的なまちづくりの推進

達成状況及び課題等を検証し、その評価結果を政策に適切に反映させることにより、効果的かつ効率的なまちづくりを推進します。

(3) 意識の共有

本町の現状を認識し、本政策評価を通じて、目標や抱える課題を共有することで、職員一人ひとりが目指すべき方向性を意識し、事業の改善や新規立案につなげます。

2. 評価の対象

第6次平泉町総合計画前期基本計画に掲げる6つの政策(基本目標)及びこれに属する32の基本施策と、基本目標を達成するための取組を具体化した125の主要施策を対象としています。

なお、令和5年度施策評価における評価対象年度は令和4年度となります。

3. 評価の方法

担当部署ごとに「目標指標の進捗状況」、「施策の推進を構成する事業」の成果、課題及び今後の方向性から「総括評価」を行い、その評価結果を踏まえて、6つの政策(基本目標)ごとに総合的な評価を行います。

施策ごとの総括評価(施策評価)は、政策の推進を構成する事業の成果から「S」、「A」、「B」、「C」の4区分により評価して集約し、最終的に6つの政策(基本目標)の進捗状況(政策評価)として、「順調」、「概ね順調」、「やや遅れ」、「遅れ」の4区分で評価しています。

4. 政策評価結果の活用

(1) 政策評価結果の公表

基本目標における主要施策ごとの評価結果に加え、その結果を踏まえた政策別の総合評価について、「令和5年度平泉町政策評価結果」としてまとめて公表します。

(2) 政策評価結果の反映

政策評価結果は、今後の実施計画作成及び予算編成過程を通じて、次年度以降の政策等に反映し、予算編成につなげていきます。

【政策評価におけるPDCAサイクルの考え方】



5. 政策評価の結果

政策評価では6つの政策項目中、「順調」が1項目(16.7%)、「おおむね順調」は4項目(66.6%)、「やや遅れ」が1項目(16.7%)となり、「遅れ」はありませんでした。

また、施策評価では、32の施策項目(延べ51部署)中、「予定を大幅に上回る成果(S)」が2部署(3.9%)、「予定通り(A)」が23部署(45.1%)、「おおむね予定どおり(B)」が23部署(45.1%)、「遅れ」が3部署(5.9%)でした。

第6次平泉町総合計画前期基本計画における
「6つの政策」及び「32の施策」の体系と評価結果

政策(基本目標)名 (○印の数字は構成する基本施策名)	評価結果	評価部署
1. 一人ひとりの個性や生きがいを大切にし、 町民参加で進める協働のまち	やや遅れ	まちづくり推進課
① 子どもの教育の充実	B	教育委員会
	B	まちづくり推進課
② 生涯学習・社会教育の推進	B	教育委員会
③ 生涯スポーツの推進	C	教育委員会
④ 移住・定住の推進	C	まちづくり推進課
⑤ 町民参画のまちづくりの推進	C	まちづくり推進課
	B	総務課
	A	総務課
⑥ 持続可能な行財政運営の推進	A	まちづくり推進課
	B	教育委員会
	A	税務課
	B	長島保育所
2. いつまでも健やかに 暮らし続けられるやさしいまち	おおむね順調	まちづくり推進課
① 保育・子育て支援の充実	A	町民福祉課
	A	保健センター
	A	教育委員会
② 地域福祉の充実	B	町民福祉課
③ 高齢者福祉の充実	A	保健センター
④ 障がい者(児)福祉の充実	B	保健センター
⑤ 保健・医療の充実	B	保健センター
⑥ 社会保障制度の充実	A	町民福祉課
3. 新たな時代の流れをつかみ、 にぎわいと活力を生み出すまち	おおむね順調	まちづくり推進課
① 農業の振興	A	農林振興課
② 農山村環境の保全	B	農林振興課
③ 観光の振興	B	観光商工課
	B	まちづくり推進課
	B	総務課
	A	建設水道課
④ 商工業の振興	B	観光商工課
⑤ 働く場の充実	A	まちづくり推進課
	A	観光商工課

政策名(○印の数字は構成施策名)	評価結果	評価部署
4. 支え合いの心でつくる安全・安心なまち	順 調	まちづくり推進課
① 消防・救急体制の充実	B	総務課
② 地域防災力の強化	B	総務課
	A	建設水道課
③ 防犯・生活安全の向上	A	町民福祉課
	A	総務課
	B	観光商工課
④ 交通安全の推進	A	町民福祉課
	A	建設水道課
⑤ 道路の整備	A	建設水道課
5. 環境と調和した快適で美しいまち	おおむね順調	まちづくり推進課
① 上下水道の整備	A	建設水道課
② 住宅・市街地・公園の整備	A	建設水道課
	B	まちづくり推進課
③ 地域公共交通の充実	B	まちづくり推進課
④ 環境保全の推進	B	町民福祉課
⑤ 空き家対策の推進	S	建設水道課
	B	まちづくり推進課
⑥ 情報環境の充実	A	まちづくり推進課
	S	町民福祉課
6. 歴史と文化を継承し、交流と創造が花開くまち	おおむね順調	まちづくり推進課
① 世界文化遺産の保存と活用	A	世界遺産推進室
② 文化財の調査研究の推進	B	文化遺産センター
③ 芸術・文化の振興	B	文化遺産センター
④ 景観の保全・整備	A	建設水道課

構成施策の評価区分は、次のとおりです。

S:目標を大幅に上回る成果をあげている(達成率 150%以上)

A:施策等の取組が予定通り進んでいる(達成率 90%以上)

B:施策等の取組がおおむね予定通りに進んでいる(達成率 70%以上 90%未満)

C:施策等の取組が遅れている(達成率 70%未満)

政策 1

一人ひとりの個性や生きがいを大切にし、 町民参加で進める協働のまち

基本目標

幼児教育・学校教育の質をさらに高めるとともに、本町に生まれ育ったことに誇りと愛着を持つことができるよう、「平泉学」学習を行い、未来にはばたく教育を進めます。

また、すべての町民に対して生涯学習や社会教育、スポーツの充実を図り、町民一人ひとりの個性や生きがいを大切にし、本町で生きること喜びと誇りを持つことができる取り組みを進めます。

さらに、まちの新たな担い手を確保するため、移住・定住を促進するとともに、町民と行政が共に手を取り合いながら主体的に考えるまちづくりを推進します。

総合評価	やや遅れ
政策を構成する 6施策(12部署)の 評価結果	【S:予定を上回る成果】 0部署 【A:予定通り】 3部署 【B:おおむね予定通り】 6部署 【C:遅れ】 3部署 3部署で「予定通り」、6部署が「おおむね予定通り」となっている一方で、3部署で「遅れ」がみられます。施策の成果指標については、子どもの教育支援に関するものや行政改革プランの達成率などは目標を達成していますが、活動数及び参加者数、移住促進に関する指標が目標に到達していないことから、総合評価は「やや遅れ」となりました。
評価者総括 (まちづくり推進課長)	計画目標の達成に向けて、一部にやや遅れが見られました。新型コロナウイルス感染症の影響で講座やスポーツイベントが中止となり、活動数や参加者数が計画目標に届いていないことが要因となっていることや移住定住の促進では一定の成果は生まれているものの、ニーズに応じた住まいや仕事の確保が喫緊の課題となっていることから、施策間で連携してコーディネートする体制整備が必要となっています。 一方で、学習交流施設が開館し、町民の主体的かつ多様な学びの場を創出することができ、学校運営でも地域の関わりが深化し、高い教育効果と学習環境の充実が図られているほか、行財政運営では、事務事業評価や行財政改革プラン等で事業の適切なマネジメントに努め、その成果も現れていることから、引き続き取り組みを継続していきます。

政策 2

いつまでも健やかに暮らし続けられるやさしいまち

基本目標

本町の未来を担う子どもは町の財産であることから、本町で安心して子どもを育てることができる地域づくりを進めます。

また、地域における支え合いの精神のもと、安心して地域で生活を営んでいくことができるように地域福祉、高齢者福祉、障がい者(児)福祉の充実を図ります。

さらに、町民が健やかに生活していけるように保健・医療の充実を推進し、少子高齢化が進行してもすべての町民が生涯にわたって元気にあらゆる活動ができる環境づくりに取り組みます。

総合評価	おおむね順調								
政策を構成する 6施策(8部署)の 評価結果	<table border="1"><tr><td>【S:予定を上回る成果】</td><td>0部署</td></tr><tr><td>【A:予定通り】</td><td>5部署</td></tr><tr><td>【B:おおむね予定通り】</td><td>3部署</td></tr><tr><td>【C:遅れ】</td><td>0部署</td></tr></table> <p>「予定通り」が5部署、「おおむね予定通り」が3部署となり、施策の成果指標については、福祉に関する総合相談窓口の設置数や障がいのある方の地域生活支援拠点の設置数などは目標に届いていませんが、子育てに関する連携会議の開催や高齢者見守りネットワーク協定締結事業者数、特定健診受診率などは目標を達成するなど、地域における支援体制の充実を図り、あらゆる世代が健康で安心して生活できるまちづくりを「おおむね順調」に進めました。</p>	【S:予定を上回る成果】	0部署	【A:予定通り】	5部署	【B:おおむね予定通り】	3部署	【C:遅れ】	0部署
【S:予定を上回る成果】	0部署								
【A:予定通り】	5部署								
【B:おおむね予定通り】	3部署								
【C:遅れ】	0部署								
評価者総括 (まちづくり推進課長)	<p>計画目標の達成に向けて、おおむね順調に各種施策を展開しました。</p> <p>特に、保育・子育てや高齢者福祉に関する支援の充実については、関係機関との連携によって切れ目のない支援を展開し、目標指標の進捗が順調に推移していることから、引き続き取り組みを継続して参ります。</p> <p>また、地域福祉や障がい者(児)福祉については、専門的人員の配置や総合的な支援拠点の設置に向けた具体的な協議を進めており、支援体制の強化を図っているほか、各種検診の受診率もやや減少傾向であることから、職域における受診を把握するとともに、受診しやすい検診体制の検討が必要となっています。</p>								

政策 3

新たな時代の流れをつかみ、にぎわいと活力を生み出すまち

基本目標

農業については、収益性の向上や新たな担い手の確保、農産物のブランド化などの多様な取り組みを行い、基幹産業である農業の一層の振興を進めるとともに、生産基盤の充実や持続可能な農山村環境づくりを進めます。

また、観光は世界遺産登録から10年が経過することから、観光客のニーズを捉えながら観光資源のブラッシュアップや掘り起こしによって、さらなる誘客とリピーターの獲得に取り組みます。

商工業については、地元企業への支援を継続していくとともに、平泉スマートインターチェンジを活用した企業誘致や周辺土地における産業の集積を好機として捉えた取り組みを進めることによって、雇用の拡大や多様な働き方を促進し、働く場の充実を進めます。

総合評価	おおむね順調
政策を構成する 5施策(9部署)の 評価結果	【S:予定を上回る成果】 0部署 【A:予定通り】 4部署 【B:おおむね予定通り】 5部署 【C:遅れ】 0部署 「予定通り」が4部署、「おおむね予定通り」が5部署で、施策の成果指標については、森林管理経営制度に基づく森林整備面積や観光客入込数などは目標に届いていませんが、道の駅平泉への町内農産物出荷登録者数、事業者主体の賑わい創出事業活動件数、誘致企業における雇用者数などは目標を達成するなど、活力を生み出す産業のまちづくりを「おおむね順調」に進めました。
評価者総括 (まちづくり推進課長)	計画目標の達成に向けておおむね順調に各種施策を展開しました。 農業の振興や農山村環境の保全については、各種施策により成果が現れつつあるほか、「束稲山麓地域の災害リスク分散型土地利用システム」が日本農業遺産に認定され、農業の持続的な発展に向けた新たな魅力と価値を創出しました。 また、誘致企業における町民の雇用数が増加したほか、切れ目のない起業支援によって人が町に定着する流れを作ることができました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響で観光客入込数や宿泊客数は計画目標に届いていませんが、プロモーション活動やキャンペーン事業を展開し、観光・商工事業者への支援を継続しながら観光需要の回復に取り組みました。

政策 4

支え合いの心でつくる安全・安心なまち

基本目標

近年の大規模な自然災害の増加や犯罪の巧妙化等の影響によって、安全・安心な地域社会を構築するためには地域と行政が一体となった取り組みが不可欠であることから、地域を巻き込んだ防災・防犯体制及び消防・救急体制の充実を図り、安心して生活ができるまちづくりを進めます。

また、交通安全や道路の整備を充実させることによって、快適で安全な暮らしの実現を目指します。

総合評価	順 調								
政策を構成する 5施策(9部署)の 評価結果	<table border="0"><tr><td>【S:予定を上回る成果】</td><td>0部署</td></tr><tr><td>【A:予定通り】</td><td>6部署</td></tr><tr><td>【B:おおむね予定通り】</td><td>3部署</td></tr><tr><td>【C:遅れ】</td><td>0部署</td></tr></table> <p>「予定通り」が6部署、「おおむね予定通り」が3部署となり、施策の成果指標については、防災士の育成数や防災情報配信サービス登録者数などは目標に届いていませんが、消防団員の充足率や浚渫を実施した河川数、町道の改良率及び舗装率は目標を達成し、防災や道路整備等を通じた安全・安心なまちづくりが「順調」に進んでいます。</p>	【S:予定を上回る成果】	0部署	【A:予定通り】	6部署	【B:おおむね予定通り】	3部署	【C:遅れ】	0部署
【S:予定を上回る成果】	0部署								
【A:予定通り】	6部署								
【B:おおむね予定通り】	3部署								
【C:遅れ】	0部署								
評価者総括 (まちづくり推進課長)	<p>計画目標の達成に向けて、各種施策を順調に展開しました。消防・救急体制の充実や地域防災力の強化については、基盤となる環境や設備の整備が計画的に進められ、目標指標も一定の成果をあげていますが、様々な災害に迅速かつ的確に行動するため、情報伝達手段の充実と正しい知識の普及を図るとともに、行政区単位による地域防災体制の強化が求められています。</p> <p>交通安全の推進については、新型コロナウイルスの影響を受けて地域や小中学校、保育所等で交通安全教室の開催回数は計画目標に達していませんが、交通安全対策の根本となる取り組みであることから、幅広い世代に向けた交通安全意識の高揚に継続して取り組んでいく必要があります。</p> <p>また、道路の整備や防犯・生活安全の向上については、目標指標の進捗が順調に推移しており、引き続き取り組みを推進して参ります。</p>								

政策 5

環境と調和した快適で美しいまち

基本目標

町民の暮らしを快適でより良いものとしていくため、上下水道や住宅・市街地の整備を進めるとともに、交通弱者に配慮した地域公共交通の充実を進めます。

また、環境負荷の少ない持続可能なまちづくりに向けた環境保全の取り組みを進めるとともに、近年増加している空き家の対策や新しい時代に対応した情報環境の整備を進めます。

総合評価	おおむね順調
政策を構成する 6施策(9部署)の 評価結果	<p>【S:予定を上回る成果】 2部署 【A:予定通り】 3部署 【B:おおむね予定通り】 4部署 【C:遅れ】 0部署</p> <p>「予定を上回る成果」が2部署、「予定通り」が3部署、「おおむね予定通り」が4部署であり、施策の成果指標は公園の整備数や平泉スマートインターチェンジ周辺の開発計画エリアにおける整備率などは目標に届いていませんが、特定空家数やICTを活用した行政サービスの実施数などは目標を達成し、生活環境の保全や暮らしの利便性向上に努めながら、快適で美しいまちづくりを「順調」に進めました。</p>
評価者総括 (まちづくり推進課長)	<p>計画目標の達成に向けて、各種施策を順調に展開しました。特に、空家対策では特定空家が解消され、情報環境の充実では、マイナンバーカードやデジタル技術の活用によって行政サービスの拡充と業務の効率化が図られています。</p> <p>上下水道の整備については、適切かつ効果的な管路及び施設等の管理に努めるとともに、町営高田前住宅の水洗化にも着実に取り組んでいます。</p> <p>市街地や公園の整備は、定住人口の増加を図るために重要な施策であり、魅力的な住環境の整備に向けてスマートインターチェンジ周辺開発との一体的な検討が進められているほか、地域公共交通ではコミュニティバスが本格運行を開始し、交通空白地域の解消に向けて、新たな交通体系が構築されました。環境保全の推進については、集団回収の実施回数が大きく減少し、一方で不法投棄の発生件数は増加していることから、資源回収や美化活動の活性化を不法投棄の抑制につなげていく取り組みが必要となっています。</p>

政策 6

歴史と文化を継承し、交流と創造が花開くまち

基本目標

「平泉の文化遺産」は、本町の誇りであり、後世にわたって守り、育て、紡いでいく必要があることから、適切な保存に取り組むとともに、その価値を活用したまちづくりを推進します。

また、町民の生活に潤いが溢れるように芸術文化活動の振興に努め、さらには本町の特徴的な景観の保全と整備を行います。

総合評価	おおむね順調
<p>政策を構成する 4施策(4部署)の 評価結果</p>	<p>【S:予定を上回る成果】 0部署 【A:予定通り】 2部署 【B:おおむね予定通り】 2部署 【C:遅れ】 0部署</p> <p>「予定通り」が2部署、「おおむね予定通り」が2部署で、施策の成果指標については、未指定文化財の調査件数(累計)やなどは目標に届いていませんが、景観阻害要因撤去数(累計)のほか、企画展の実施及び展示品の更新(累計)とともに、文化遺産センター入館者数(累計)が目標を達成するなど、歴史と文化を保全・継承しながら、その価値を発信するまちづくりを「おおむね順調」に進めました。</p>
<p>評価者総括 (まちづくり推進課長)</p>	<p>計画目標の達成に向けて、おおむね順調に各種施策を展開しました。</p> <p>世界文化遺産の保存と活用については、構成資産の適切な保存整理を行いながら、価値を広めていくための調査研究が順調に進められていますが、その裾野に広がる文化財の掘り起こしも重要であることから、その所在や保存状況、価値等を把握するとともに、郷土の歴史や文化を知る資料として活用することで、文化財を通じた新たな魅力の発信と町に対する愛着や誇りの醸成に取り組んで参ります。</p> <p>芸術・文化の振興については、伝統芸能が抱える高齢化や後継者不足という課題の解消に向けた体験講座等を開催し、担い手の育成に着手するとともに、鑑賞や発表の機会を確保しました。また、景観の保全・整備では、事業や活動の成果が着実に現れていますが、社会状況や新たな課題、ニーズに対応した効果的な施策を検討していく必要があります。</p>